

## I. 目指す学校像

大正 9 年に殖産興業を図る目的で創立され、その後地域に根差した工業高校として支えられてきた 99 年の歴史を持つ伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人材育成を目指す。そのために「実力主義、努力主義、反省主義」の 3 つを上げている。自他ともに認める実力をつけ、そのための努力を惜しまず、次のステップに進むための反省を行い、それを生かしていける生徒の育成を目指す。また、工業高校である本校は職業人を育てることを目的としており、社会で通用する規範意識や基礎学力を身に付けさせることを目標にする。

- (1) 自他共に大切にし、人権尊重の精神に基づいて教育活動を推進し、いじめや体罰のない学校
- (2) 職業人として基本的な姿勢である規範意識を養いそれを実践できる生徒を育成する学校
- (3) 社会で役立つ学力の基礎をしっかりと定着できる学校
- (4) 職業人として任された仕事を、責任をもって遂行できる気力と体力を養うことができる学校
- (5) 保護者や地域から信頼され、ともに一体となって生徒のための教育が推進できる学校

## II. 中期的目標と方策

### 1. 目標

一人一人を大切にしたい個に応じた指導を徹底し、主体的で自立した生徒を育てる。

「あきらめない」精神を育て、粘り強い生徒を育成する。

100 周年を迎える伝統ある工業高校として地域に愛される学校づくりをさらに進める。

キャリア教育を充実させ将来を考えさせ、職業人としての社会規範や知識を養う指導する。

広報活動をさらに充実させ学校の理解促進と地域からの信頼と理解を深める。

### 2. 方策

#### 1) 学習指導：あきらめさせない指導の徹底と社会人として通用する基礎学力の定着

- ① あきらめない、あきらめさせない指導の中で学習習慣の定着を図る。
- ② 日々の授業を大切にし、授業に取り組む姿勢を定着させ基礎学力の定着を図る。
- ③ 補習補講体制を充実させ、社会人、職業人としての基礎学力を身に付ける。
- ④ 資格取得の指導や検定指導の充実を進める。
- ⑤ 特に「学び直し」や日本語指導が必要な生徒に対しては外部支援も活用し個に応じた学習支援を行う。

#### 2) 生活指導：規範意識の醸成と生徒の主体性の伸長を目指す

- ① 規範意識の醸成を図るため全職員での生徒への声掛けに努める。
- ② 安定した学校生活を送るために、保護者とも連携を取り生活習慣の定着を図る。
- ③ スクールカウンセラー、自立支援チームを組織的に活用し、生徒や教員が相談しやすい環境づくりを行う。
- ④ いじめの未然防止の観点からも心の教育を充実させ、組織的な取組を行う。また教員間の情報共有を十分に図れるような体制を作る。
- ⑤ 問題行動の未然防止に努める。特にいじめにつながりかねない SNS 等の使い方については指導を徹底させ、生徒間のトラブル等の未然防止を図る。
- ⑥ 安全教育を推進し、セーフティ教室などを充実させる。

#### 3) 進路指導：4年間を見通したキャリア教育の充実を図り、職業人を育てる

- ① キャリア教育の視点で4年間を見通した進路指導を行い、キャリア教育の充実を図る。

- ② 外部との連携による進路講話等を充実させ、健全な勤労観や職業観を育成する。
  - ③ 勤労観や職業観を育成するために3年生でのインターンシップを充実させる。
  - ④ 就職試験に対応できる力や技能を身につけさせ、進路決定率100%を実現する。
- 4) **特別活動：生徒の帰属意識や自己有用感を育てる**
- ① 文化祭などの学校行事を活性化させ生徒の自己有用感や帰属意識を高める。
  - ② 生徒会活動や部活動を活性化させ帰属意識や自己肯定感を高める指導を進める。
  - ③ ボランティア活動を推進し、地域行事や防災活動に積極的に参加させ、コミュニケーション力や自己有用感を育成する。
- 5) **広報活動・募集対策：本校の理解促進と地域に根差した学校理解を進める**
- ① 本校の教育活動や生徒の姿を広く中学生や保護者、中学校関係者、地域等に紹介し理解していただくためにあらゆる機会を使い積極的に広報・募集活動を行う。
  - ② 学校説明会や見学会、体験入学などを積極的に行い、今まで以上に充実を図る。
  - ③ ホームページを充実させ、日々の学校の様子を発信するとともに本校の理解促進に努める。
  - ④ 全職員での広報活動を図り、学校理解と募集対策に努める。
- 6) **健康・安全・防災：心身ともに健全な生徒を育てる**
- ① 地域や関係機関と連携を図り、計画的に防災訓練等を実施し「自助・公助・共助」の精神を育成するとともに、防災意識の向上とボランティア精神の育成を図る。
  - ② 生徒の健康促進を図るため、健康診断の確実な受診と健康への意識向上のために食育教育や健康推進教育の充実を図る。
  - ③ スクールカウンセラーや関係機関と連携を図り、いじめの未然防止や心の教育のために全力で取り組む。
  - ④ スポーツ活動や体育を推進し体力向上を進め、けが防止や病気防止につながるよう指導する。
  - ⑤ 外部機関等と連携し交通安全教室や薬物禁止講話などを実施し、安全教育に努める。
- 7) **学校経営・組織体制**
- ① 組織的な取組をさらに進めるために教職員間の情報共有を図り協力体制を整える。
  - ② 教職員のコンプライアンスをより向上させるために校内研修等で周知徹底を図る。
    - ・ 校内研修等を実施しサービスについて理解を進めると共にサービスの厳正を徹底する。
    - ・ 機会ある毎に個人情報の管理の徹底を促すと共に相互の注意喚起にも努める。
  - ③ 働き方改革プランを推進させ、仕事の効率化を行うと共に、ライフワークバランスの実現を図り公私ともにバランスの取れた豊かな生活を目指す。
  - ④ 経営企画室との連携を深め、円滑な学校運営ができるように努める。

### III. 今年度の取組目標と方策

#### 1. 目標と方策

目 標	方 策
<b>学習指導</b> <b>(あきらめさせない指導の徹底)</b>	
① 学習習慣の定着と充実	➤ スモールステップの授業の実践により達成感と、繰り返しによる学力の定着を図る
② 基礎学力の定着と向上	➤ アクティブ・ラーニング（AL）を実施し主体的・対話的な学びにつなげ学力の定着を図る。
③ 補習補講体制の充実	➤ 復習、振り返り、まとめを充実させ確実な定着を図る ➤ 成績の伸び悩んでいる生徒への補習の徹底を図る
④ 長期休業中の補習補講	➤ 学期ごとの指導を徹底し基礎学力の定着を図る ➤ 長期休業中に個別指導による補習等を行い基礎学力の定着を

<p>⑤ 資格取得指導の充実 ⑥ 読書活動等の充実</p>	<p>図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 進路に結びつくような資格や検定の取組を充実させる</li> <li>➤ 調べ学習や主体的学習を積極的に行い、図書館の積極的な活用を促し探究意欲と態度を養う。</li> </ul>
<p><b>生活指導</b> (生徒の主体性を伸ばす指導)</p> <p>① 規範意識の醸成</p> <p>② 教育相談の充実 いじめの未然防止</p> <p>③ 安全教育の充実</p> <p>④ SNS等社会規範の教育</p>	<p>(社会人として生きていくための指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ あいさつの習慣をつけさせるとともに、他人に対する態度等を養うように指導する。</li> <li>➤ SC、YSW等の活用により相談しやすい環境づくりを図る</li> <li>➤ SCによる全員面接の実施</li> <li>➤ 集会やHR等でのこまめな呼びかけの徹底</li> <li>➤ 外部機関とも連携し、セーフティ教室や交通安全指導を行っていく。</li> <li>➤ いじめに繋がりがかねないSNS等の使い方の指導やインターネット社会の便利さと怖さを指導していく。</li> </ul>
<p><b>進路指導</b> (将来を考えさせる指導)</p> <p>① 進路決定率 100%の実現</p> <p>② 全学年を通じた体系的なキャリア教育の充実</p> <p>③ キャリア教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 就職試験に対応できる力(SPI検査、作文、面接等)や技能(資格取得等)を身に付けさせる</li> <li>➤ 面接指導等、組織的な指導の充実を図る</li> <li>➤ 1年生から体系的な進路指導体制を作る</li> <li>➤ 学年進行に応じた関係機関と連携した進路ガイダンスの実施</li> <li>➤ 学年と連携し進路に対する意識を醸成し、進路活動につなげていく。</li> </ul>
<p><b>特別活動・部活動 等</b> (学校生活を充実させるために)</p> <p>① 学校行事の活性化</p> <p>② 部活動の活性化</p> <p>③ 生徒会活動の充実</p> <p>④ 地域との連携の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 生徒の満足度を上げるため学校行事の内容をより充実させる</li> <li>➤ 部活動加入率を上げ帰属意識を高める</li> <li>➤ 生徒のやる気を引き出し、主体的な活動を導く</li> <li>➤ 学校行事や挨拶運動で中心となれるように指導する</li> <li>➤ 地域のイベント等に積極的に参加する。(富士見祭り、地域防災訓練等)</li> </ul>
<p><b>広報活動・募集対策</b> (ものづくりの楽しさを伝える)</p> <p>① 学校説明会等の充実</p> <p>② HPの充実</p> <p>③ 地域等への貢献</p> <p>④ 中学校訪問の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 校内での学校説明会等3回以上、体験入学2回の実施</li> <li>➤ 年間での更新回数100回以上、</li> <li>➤ 地域祭りや防災訓練等への参加</li> <li>➤ 板橋区、北区を中心に全職員での中学校等の訪問。特に板橋区、北区は2回以上 他を含め延べ80校(箇所)以上</li> </ul>
<p><b>学校経営・組織体制</b> (『チーム北豊島』として)</p> <p>① 組織力の向上と強化</p> <p>② コンプライアンスの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 共有フォルダ等の活用により情報の共有化を図る</li> <li>➤ サービスの厳正の徹底を図るために校内研修等を2回以上実施</li> <li>➤ 個人情報の管理を徹底するために校内ルールの徹底と職員室等の環境整備を行う</li> </ul>

③ ライフワークバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 体罰及び服務事故 “0”</li> <li>➢ 業務内容の見直しや仕事の効率化を図る</li> <li>➢ 仕事の偏りを軽減するために組織的な取組を推進する</li> </ul>
④ オリンピック・パラリンピック教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 外部人材による講演の実施</li> <li>➢ 外部との連携による国際理解教育を進めるための取組</li> </ul>
⑤ 経営企画室との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 連絡・報告を確実にを行い円滑な学校運営ができるよう努める</li> </ul>
<b>健康・安全・防災</b> (生徒の安全推進のために)	
① 防災教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 避難訓練の適正な実施と地域と連携した防災訓練の実施</li> </ul>
② 生徒の健康推進教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 生活習慣の確立、食育の推進を図るための講演等の実施</li> </ul>
③ 心の健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 教育相談体制の充実</li> <li>➢ S Cによる全員面接の実施</li> </ul>
④ 安全・安心な学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 危険個所の早期発見と修繕を徹底する</li> <li>➢ 学習環境の整備の推進</li> </ul>

## 2. 重点目標と方策

### A) 全職員で取り組むこと

#### 1 わかりやすい授業への取組と補習補講の充実

- ・ 長期休業日中の補習補講の実施（年 2 回以上）
- ・ I C T等の活用

#### 2 全職員での広報活動

- ・ 地域中心（板橋区、北区を中心とした）の中学校等への訪問の実施
- ・ 上記を含めた中学校等への訪問

#### 3 規範意識醸成のための全職員での声掛け（生徒の主体的な行動を促す）

### B) 各分掌事の重点目標

①	1~3 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中途転退学者を出さない</li> <li>・ 保護者、家庭との連携強化</li> </ul>	中途退学者をなくす 丁寧な連絡と記録の徹底
②	4 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中途転退学者を出さない</li> <li>・ 保護者、家庭との連携強化</li> <li>・ 進路決定 100%の実現</li> </ul>	中途退学者をなくす 丁寧な連絡と記録の徹底
③	教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間での校務スケジュール管理</li> <li>・ 授業時数の確保に向けて</li> <li>・ 組織的な教務活動</li> <li>・ 各分掌との連携強化</li> </ul>	計画的な行事管理 臨時時間割など早めの周知
④	生活指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規範意識の醸成 授業規律</li> <li>・ 特別指導等の未然防止指導の徹底</li> </ul>	全職員での声掛けの徹底 特別指導件数：3 件以内
⑤	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の進路決定 100%の実現</li> <li>・ 4 年を通しての進路指導の充実</li> </ul>	学年と連携を図り進路決定 100%
⑥	募集対策・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動の充実と組織的な取組</li> <li>・ 中学校教員向けの広報活動</li> <li>・ 中学校訪問の充実</li> <li>・ H Pの刷新と充実</li> </ul>	学校説明会等 4 回 体験入学 2 回 学校説明会 2 回 全職員で中学校等へ訪問 延べ 80 校以上 H P更新 100 回以上
⑦	工業科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究の指導の充実</li> </ul>	資格指導、ものづくり指導の充実